

「Q&A で学ぶ CCPA カリフォルニア州消費者プライバシー法」

全目次

はじめに

凡 例

第 1 章 CCPA の概要(クイックガイド)

- Q1: CCPA 成立の背景・経緯は？
- Q2: CCPA 上の「消費者」とは？
- Q3: CCPA 上の「個人情報」とは？
- Q4: CCPA の適用を受ける「事業者」とは？
- Q5: 消費者に対する情報開示は？
- Q6: CCPA 上の消費者の権利は？
- Q7: 開示請求権とは？
- Q8: 削除請求権とは？
- Q9: CCPA 上の個人情報の「販売」とは？
- Q10: 販売のオプトアウト権とは？
- Q11: 16 歳未満消費者のオプトイン同意とは？
- Q12: 権利行使を理由とする差別の禁止とは？
- Q13: プライバシーポリシーの記載項目は？
- Q14: 消費者の権利行使への対応方法は？
- Q15: 個人情報漏えいに対する損害賠償責任は？
- Q16: 民事制裁金とは？
- Q17: 事業者の主な義務・責任をまとめると？

第 2 章 CCPA の法目的

- Q1: CCPA 以前のプライバシー保護は？
- Q2: 既存法があるのに CCPA が制定されたのは？
- Q3: CCPA で確立された消費者の権利は？

第 3 章 CCPA 詳 解

1. CCPA 上の「消費者」概念

- Q1: 「消費者」とは？

2. CCPA 上の「個人情報」概念

- Q1: CCPA 上の「個人情報」とは？
- Q2: 「個人が特定される」とは？
- Q3: CCPA 上 Cookie は個人情報？
- Q4: 「世帯」の個人情報とは？
- Q5: 「個人情報」かどうかは誰を基準に判断？

- Q6: 「個人情報」には紙の情報も含まれる?
- Q7: SNS で公開されている情報も個人情報?
- Q8: 匿名情報／仮名化のような概念は?
- Q9: 損害賠償請求の対象となる個人情報の範囲は狭い?
- Q10: CCPA 改正法案(CPRA)で個人情報概念に変更は?
3. CCPA 上の「事業者」概念
- Q1: CCPA は誰に適用?
- Q2: 「事業者」とは?
4. CCPA の域外適用
- Q1: 日本企業への域外適用は?
- Q2: 域外適用があるとしても裁判管轄は?
5. CCPA 上の個人情報の「販売」概念
- Q1: なぜ「販売」概念が問題に?
- Q2: 個人情報の「販売」とは?
- Q3: 「販売」から除外される開示行為とは?
- Q4: 消費者の意思に基づく開示の例外とは?
- Q5: 「サービス提供者」への開示の例外とは?
- Q6: 「業務目的」(business purpose)とは?
- Q7: 「業務目的」と「商業目的」の違いは?
- Q8: 「第三者」でない者(「契約業者」)への開示の例外とは?
- Q9: 合併等に伴う個人情報移管の例外とは?
- Q10: 個人情報の販売を受けた第三者は再販売可能?
- Q11: 関連会社間の開示は「販売」?
- Q12: 関連会社間の人事管理情報の交換は「販売」?
6. 「サービス提供者」の扱い
- Q1: 事業者からでなく直接個人情報を取得する者は?
- Q2: サービス提供者ができる個人情報処理の範囲は?
- Q3: オプトアウト請求があったらサービス提供者は?
- Q4: サービス提供者が直接消費者から請求を受けたら?
- Q5: サービス提供者は同時に事業者該当し得る?
- Q6: サービス提供者は CCPA 上の執行対象?
7. 取得時通知
- Q1: 取得時通知とは?
- Q2: 取得時通知の目的は?
- Q3: 読み易さ／言語／障害者配慮等について決まりは?
- Q4: 具体的な通知方法は?

- Q5: Cookie バナーは必要？
- Q6: 通知する利用目的に関連した制限は？
- Q7: 通知していない個人情報を取得するには？
- Q8: 通知すべき内容は？
- Q9: 間接取得した個人情報については？
- Q10: 個別通知が不要となるデータブローカー登録とは？
- Q11: 従業員に取得時通知は不要？
8. 販売のオプトアウト権に関する通知
- Q1: 販売のオプトアウト権とは？
- Q2: 販売のオプトアウト権の通知とは？
- Q3: 販売のオプトアウト権の通知の目的は？
- Q4: 読み易さ／言語／障害者配慮等について決まりは？
- Q5: “Do Not Sell～”の具体的な掲示方法は？
- Q6: オプトアウト通知の内容は？
- Q7: Cookie バナーで“Do Not Sell～”の代わりは？
- Q8: 「販売」していない場合は何もしなくてもいい？
- Q9: オプトアウト通知していないが「販売」するには？
- Q10: 「販売」に対する「積極的承認」(オプトイン)とは？
9. 経済的インセンティブに関する通知
- Q1: 経済的インセンティブに関する通知とは？
- Q2: 経済的インセンティブに関する通知の目的は？
- Q3: 読み易さ／言語／障害者配慮等について決まりは？
- Q4: 通知の記載事項は？
10. プライバシーポリシー
- Q1: プライバシーポリシーの位置付け・目的は？
- Q2: 読み易さ／言語／障害者配慮等について決まりは？
- Q3: プライバシーポリシーの具体的な掲示方法は？
- Q4: CCPA で要求されるプライバシーポリシー記載事項は？
- Q5: 個人情報のカテゴリーの記載方法は？
- Q6: CCPA を踏まえた全米向けプライバシーポリシーは？
- Q7: 個人情報の「販売」に関する各社の記載は？
11. 開示請求
- Q1: 開示請求権とは？
- Q2: 開示請求できる情報は？
- Q3: 開示請求の方法は？
- Q4: 指定方法以外で開示請求された場合は？

- Q5: 請求の受領確認は?
- Q6: 開示請求への対応期限は?
- Q7: 請求者の本人確認ができない場合は?
- Q8: 請求対象が非登録ユーザの IP アドレスの場合は?
- Q9: 開示請求された個人情報の検索ができない場合は?
- Q10: アカウントパスワードも開示していい?
- Q11: 個人情報自体の開示が他の法律違反になる場合は?
- Q12: 請求情報に他人の機微情報が含まれる場合は?
- Q13: 開示請求された情報をデータで提供する場合は?
- Q14: Web 上での開示請求対応は?
- Q15: プライバシーポリシーで開示の代わりは?
- Q16: いやがらせの請求には?

12. 削除請求

- Q1: 削除請求権とは?
- Q2: 削除請求の方法は?
- Q3: 指定方法以外で削除請求された場合は?
- Q4: 請求の受領確認は?
- Q5: 削除請求への対応期限は?
- Q6: 請求者の本人確認ができない場合は?
- Q7: 削除の方法は?
- Q8: サービス提供者に処理を委託している場合は?
- Q9: 削除が完了したら?
- Q10: 削除を拒否できる場合は?
- Q11: 実際に削除を拒否する場合は?
- Q12: 削除範囲を限定してもらうのは?

13. オプトアウト請求

- Q1: オプトアウト(請求)権とは?
- Q2: オプトアウトに関し事業者がすべきことは?
- Q3: オプトアウトの請求方法は?
- Q4: 一括プライバシーコントロールとは?
- Q5: 一括プライバシーコントロールと他の設定の関係は?
- Q6: Cookie の種類ごとにオプトアウトしてもらえる?
- Q7: 請求への対応期限や販売先への指示は?
- Q8: 代理人による請求と本人確認は?
- Q9: オプトアウトされた後に販売が必要な場合は?

14. ターゲティング広告と個人情報の販売

- Q1: ターゲティング広告と個人情報の販売の関係は？
Q2: Google の対応は？
Q3: IAB(業界団体)の対応は？
Q4: Facebook, Adobe その他の対応は？
Q5: 一般企業も対応が必要？
15. 事業者の研修／記録義務
Q1: 事業者の研修義務とは？
Q2: 事業者の記録義務とは？
Q3: 請求対応記録の集計／公表義務とは？
16. 世帯の個人情報の開示・削除請求
Q1: 世帯についての開示・削除請求を受けた場合は？
17. 本人確認・代理人の確認
Q1: 請求者の本人確認方法は？
Q2: アカウントがある消費者の本人確認は？
Q3: アカウントがない時／PW 忘れの時の本人確認は？
Q4: 代理人による請求の受付手続は？
18. 未成年者情報の販売オプトイン等の手続
Q1: 16 歳未満消費者の販売オプトインとは？
Q2: 13 歳未満の販売オプトイン／開示・削除請求は？
Q3: 13・14・15 歳の個人情報販売のオプトイン手続は？
Q4: オプトイン手続の通知は？
Q5: オプトインしてもらうための方法の具体例は？
19. 権利行使を理由とする差別の禁止と判断基準
Q1: 権利行使を理由とする差別の禁止とは？
Q2: 禁止される差別の具体的判断基準は？
Q3: 個人情報の価値の算定義務とは？
20. CCPA の適用除外・例外
Q1: CCPA 上の義務が他の権利義務等と抵触する場合は？
Q2: 他法適用による適用除外とは？
Q3: 自社従業員情報の適用除外とは？
Q4: B to B: 他社従業員情報の適用除外とは？
21. CCPA 違反に対する救済と制裁
Q1: CCPA 上の消費者による損害賠償請求とは？
Q2: CCPA 関連訴訟の状況は？
Q3: 個人情報漏えいを他の法的根拠で提訴可能？
Q4: 州司法長官による民事制裁金請求とは？
Q5: 消費者プライバシー基金とは？

22. その他 CCPA・規則上の規定

- Q1: 州司法長官による規則制定・執行開始とは？
- Q2: 消費者の権利放棄特約の無効とは？
- Q3: 消費者との紛争について仲裁条項は無効？
- Q4: CCPA の解釈原則は？

第 4 章 他の米国プライバシー保護法

- Q1: CCPA と他のプライバシー関連法との関係は？
- Q2: 加州憲法上のプライバシーに関する権利とは？
- Q3: 加州顧客情報記録法とは？
- Q4: 加州オンラインプライバシー保護法(CalOPPA)とは？
- Q5: 加州 Shine the Light 法とは？
- Q6: 未成年者の投稿削除権に関する加州法とは？
- Q7: 連邦児童オンラインプライバシー保護法(COPPA)とは？
- Q8: 連邦「公正信用報告法」とは？
- Q9: 連邦「金融サービス近代化法」とは？
- Q10: 医療個人情報に関する連邦法とは？
- Q11: カリフォルニア州医療情報秘密保護法とは？
- Q12: 連邦「運転者プライバシー保護法」とは？
- Q13: ネバダ州の販売オプトアウト法とは？
- Q14: バーモント州「データブローカー規制法」とは？
- Q15: データ侵害通知法とは？
- Q16: ニューヨーク州「SHIELD Act」とは？
- Q17: FTC 法第 5 条とは？
- Q18: カリフォルニア州不公正競争防止法とは？
- Q19: カリフォルニア州消費者法的救済法とは？

第 5 章 CCPA コンプライアンス

- Q1: CCPA コンプライアンスをゼロから始めるときは？
- Q2: Privacy Policy を含む Web サイト全体の設計は？
- Q3: CCPA 上確保すべきセキュリティの基準は？

第 6 章 CCPA 改正法案(CPRA)

1. 個人情報保有の制限
2. 比例性原則の導入
3. サービス提供者および契約業者の規制強化
4. 訂正請求権の導入
5. ターゲティング広告用 Cookie のオプトアウト権明確化
6. 権利行使した従業員等への報復禁止

7. 「機微個人情報」の保護
8. 「同意」の要件厳格化
9. 自社・他社従業員情報の例外延長
10. セキュリティー侵害の範囲拡大
11. 16歳未満個人情報に関する違反への制裁強化
12. セキュリティー監査/リスク評価/高リスク処理禁止
13. 自動意思決定／プロファイリング
14. カリフォルニア州プライバシー保護庁の新設
15. CPRA 改正に対する制限
16. CPRA 施行日

著者略歴

著者発表論文一覧